

整備
事例

県南部地域を貫く幹線道路の4車線化が、
エリアの渋滞緩和と経済活性化に大きく寄与

～ 大津湖南幹線〔草津守山線〕(草津市、栗東市、守山市) ～

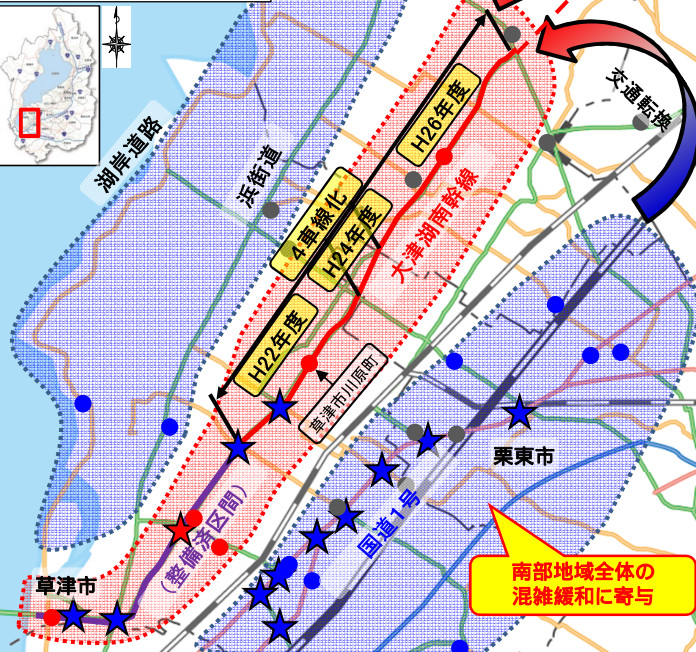
大津湖南幹線

- ・大津湖南幹線(草津市-守山市)の4車線化により、混雑する並行路線から大津湖南幹線への交通転換を実現、地域の経済活動における時間損失を改善
- ・沿線に101件の店舗・事業所が進出、地域経済の活性化に大きく寄与

県南部地域の交通状況

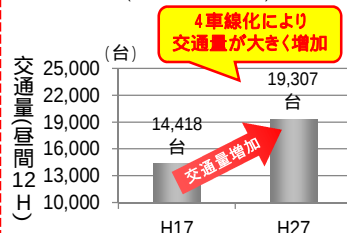
- 〔道路交通センサス交通量観測地点〕
- : 交通量が増加(H17→H27)
 - : 交通量が減少(H17→H27)
 - : 増減なし(1000台未満の変化)

- 〔主要渋滞箇所〕
- ★ : 混雑度が減少(H17→H27)
 - ★ : 混雑度が増加(H17→H27)

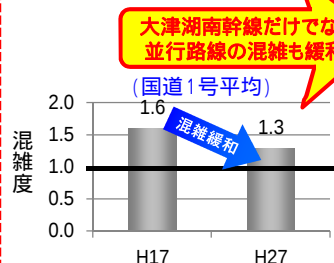
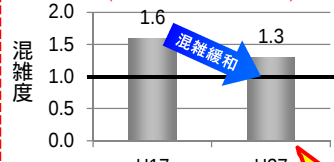


地域の混雑緩和

〔大津湖南幹線の交通量〕
(草津市川原町)



〔主要渋滞箇所の混雑度〕
(大津湖南幹線平均)



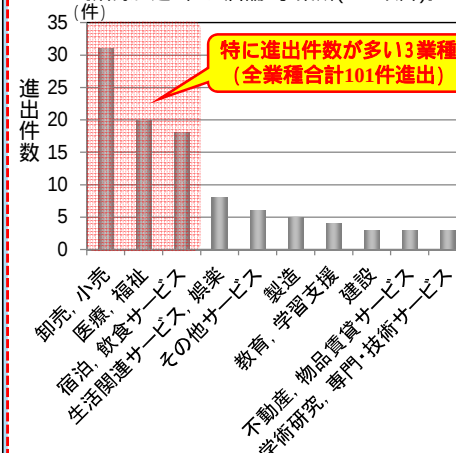
混雑度: 計画時に設定された交通量の水準と実際の交通量の比(値が高いほど混雑する可能性が高い)

出典: 道路交通センサス(国土交通省)

大津湖南幹線沿線の企業進出等の状況(H21以降)

大津湖南幹線沿線の経済活性化

〔沿線に進出した店舗・事業所(H21以降)〕



上記のグラフは、総務省統計局「経済センサス-基礎調査」の調査票情報を基に、独自集計したものである。

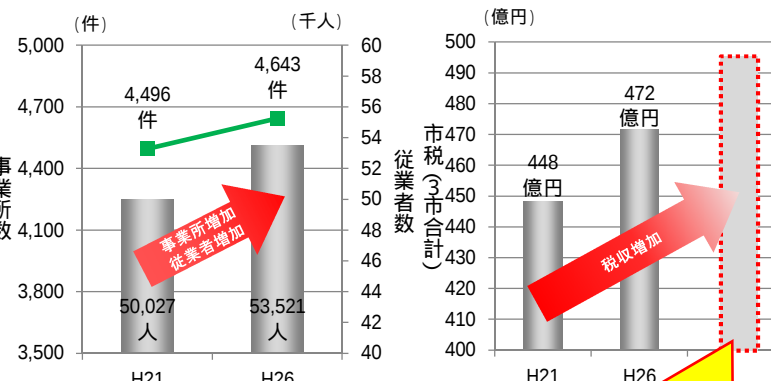


〔開発箇所・新規事業所〕

- : 1ha以上の宅地開発箇所
- : 卸売業、小売業
- : 医療、福祉
- : 宿泊業、飲食サービス業

沿線自治体の活性化

〔沿線3市(草津市、栗東市、守山市)〕



H21年以降 開設件数の多い上位3業種(卸売・小売、医療・福祉、宿泊・飲食サービス)における事業所数および従業員数の合計値

出典: 経済センサス(総務省)

出典: 草津市、栗東市、守山市HP

地域の声



(市民)

- ・整備前は、どこに行っても渋滞していたので狭い市道を抜け道として利用していましたが、整備後は、安全に早く移動できるようになりました。



(卸売業)

- ・近距離中距離の取引先へのアクセス性を考慮して、平成24年に大津湖南幹線沿いの工業団地に営業所を開設しました。

H26年度までに4車線化した区間の更なる整備効果の発現に期待